

桐敷拓馬選手・松本龍選手が表敬訪問



▲記念品のタイガースカラーの獅子頭を持つ桐敷選手と市長



本市出身で、阪神タイガースからドラフト3位指名をされて入団した桐敷拓馬選手が、12月20日に市長を訪問しました。

桐敷選手は6歳から屈巢ニュースターズで野球を始めました。その後、新潟福祉医療大学へ入学し、今年の10月に行われた関甲新学生秋季リーグでは、リーグ史上初となる完全試合を達成、またリーグ最多の1試合19奪三振を記録する等の活躍を見せました。

今回の表敬訪問では「鴻巣市に恩返しできるような頑張ります」とプロでの意気込みを語ってくれました。今後の活躍を期待しています。



▲松本選手と市長



競技中の松本選手(右)▶

©日本フェンシング協会/竹見修吾

本市出身でフェンシング選手の松本龍選手（日本大学）が、12月21日に市長を訪問しました。

松本選手は、11月に行われたフェンシングワールドカップのベルン（スイス）大会で男子団体エペに出場し、銅メダルを獲得しました。松本選手は2019年のジュニアワールドカップ東京大会のエペ個人でも優勝経験があり、今後益々の活躍が期待される選手です。

市長は、次のオリンピックを目指して頑張ってくださいと、松本選手を激励しました。

100歳！ ますますお元気で



以前はよく
編み物を
していました

100歳を迎えられた鈴木利子さん（大正10年12月10日生・郷地）をお祝いしました。これからどうぞお元気で。

図書館調べる学習コンクール

11月6日に市民活動センターで「第8回鴻巣市図書館調べる学習コンクール」の表彰式が行われ、10人の皆さんが受賞されました。また、今年の応募487点の内、特に優秀だった作品は、公益財団法人図書館振興財団が主催する全国を対象とした「第25回図書館を使った調べる学習コンクール」に推薦出品しています。

